

日本発ドイツ便り : O'zapft is!

今年も始まりました。Oktoberfest (オクトーバーフェスト)。

タイトルの「O'zapft is!」は、初日の12時に、ミュンヘンの市長さんが、ビア樽に木槌で栓を打ち込み Oktoberfest の開会を宣言する決まり文句です。(バイエルンの方言で「酒が出たぞー!」という意味です。正しい発音は不明ですが、動画などで確認すると「オ ツァプフト イス!」という感じに聞こえます。)

今年、2014年は9月20日から10月5日までの16日間の開催。この期間中、世界中からビールを飲みに来る Oktoberfest に集まる人の数、のべ600万人。なんだか規模が違います。

一度は本場の Oktoberfest 体験してみたいもんですが、なんせ私はお酒に弱い。ドイツでの訓練(?)の結果少しは飲めるようにはなりましたが、Massbier (マスビア:1リットル)への道は遠い…。

普段はBayernのことバカにしているバイエルン州以外のドイツ人達も、このOktoberfestについては、「うらやましい」と思っていたからなのかどうかは分かりませんが、近ごろでは、ミュンヘン以外の大きな街でも、広場にOktoberfestのテントがどーんとできたりして、色々なところで、その雰囲気味わえます。日本発ドイツ行きのLufthansa航空では、「Oktoberfest 特別メニュー」てなものも機内食で準備されていました。



私もちょっと雰囲気味わってみたくて、Frankfurtのレストランへ!(ここのレストランはミュンヘンのビール醸造所が経営しています)結構早めの時間でしたが、生演奏なんかはないものの、もう大賑わい!次から次へと人が集まってくる感じでした。☺

まずはやっぱりOktoberfestbier。オクトーバーフェストのために造られる特別なビールです。特徴は通常のビールよりホップを倍くらい入れて作る。そのため、少し苦味が強くて、アルコール度数も若干高め(6%程度)しばし考えて、500mlを注文しました。もちろん生ビール(von Fass)です。お料理を待つ間、「お?おいしい?」なんて調子に乗って飲んでいたわけです。

お料理もせっかくなので、Oktoberfest スペシャルメニューから選びました。

Bayerisches Ochsengulasch (牛肉のビール煮込み+パンとジャガイモのKnödel 添え) 店の人も太鼓判のお料理でしたが、ホントに美味しかった!途中だんだんビールが回ってきて、頭ぐるぐる回ってましたが、美味しく最後まで完食!お腹に余裕があれば、お代わりしたい美味しさでした。



お店の様子もご機嫌な感じ。

この壁に吊るしてあるOktoberfestのデコレーション、いいなあ。どこで手に入るのか、聞いて帰ろう!と途中までは覚えていたのですが、すっかり忘れて「また来るね~」なんて言いながらお店を出てしまいました。(不覚!)

あ、ドイツでは人前で酔っぱらうのはタブーですので、気を付けてくださいね。



翌日のフランクフルト空港でも Oktoberfest



免税店では Oktoberfest グッズ売ってました！衣装から小物、アクセサリにビール、ジョッキなどなど。



なんと生演奏までやってました！楽団のみなさん着用しているのが、バイエルン地方の民族衣装、Trachtenlederhose（トラハテンレーダーホーゼ：伝統的には「鹿皮」で作る半ズボン）です。演奏しながらもカメラの気配を感じるとポーズ取るあたりがプロって感じでした。

ちなみにタカノ家では毎年 Oktoberfest やりますよ。☺

Oktoberfest のビールも用意しますし、グラスも揃っています。今年のお料理はこんな感じでした。



ちなみに、毎年多いに話題になるのが Oktoberfest のビールの値段。今年は Massbier（1 リットル）一杯 9.7 ユーロから 10.1 ユーロ。「史上初」の 10 ユーロ越えとのこと。（比較までに、丁度 10 年前、2004 年の値段は 6.7 ユーロ～7.1 ユーロでした。）

高いか安かはさておき、今年もおいしい Bier（ビア）に Prost!（プロースト！：乾杯！）